

令和三年十一月号 第二十一卷 第三十号 第三十三号 第三十四号 第三十五号 第三十六号 第三十七号 第三十八号 第三十九号 第四十号 第四十一号 第四十二号 第四十三号 第四十四号 第四十五号 第四十六号 第四十七号 第四十八号 第四十九号 第五十号 第五十一号 第五十二号 第五十三号 第五十四号 第五十五号 第五十六号 第五十七号 第五十八号 第五十九号 第六十号 第六十一号 第六十二号 第六十三号 第六十四号 第六十五号 第六十六号 第六十七号 第六十八号 第六十九号 第七十号 第七十一号 第七十二号 第七十三号 第七十四号 第七十五号 第七十六号 第七十七号 第七十八号 第七十九号 第八十号 第八十一号 第八十二号 第八十三号 第八十四号 第八十五号 第八十六号 第八十七号 第八十八号 第八十九号 第九十号 第九十一号 第九十二号 第九十三号 第九十四号 第九十五号 第九十六号 第九十七号 第九十八号 第九十九号 第一百号

槐かい

関井省二創刊

令和3年11月号

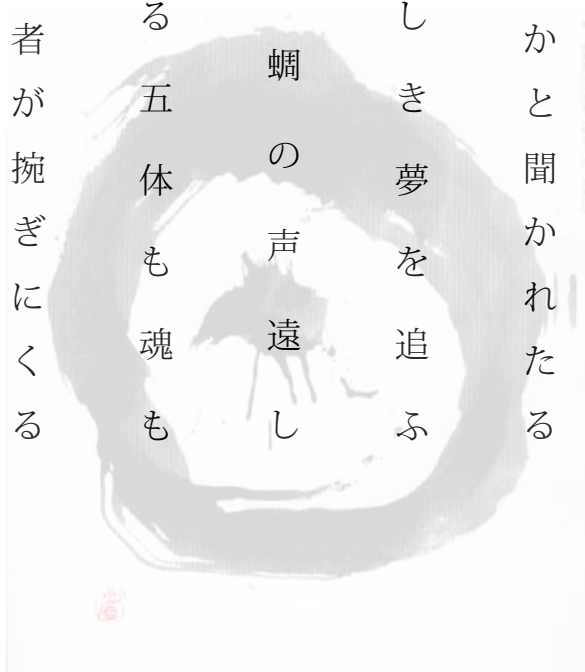


無花果

高橋将夫

誕生も死も爽やかに湯を使ひ
深深と日を蓄へし牛蒡引く
弾力の見本のやうな群鰯
朝露に日光夜露には月光

伝統と権威の壁に蔦かづら
菊枕だからと思ふ夢を見し
白桃にどこが好きかと聞かれたる
芋虫のはや美しき夢を追ふ
夢の世に居て蝸の声遠し
火をもつて送る五体も魂も
無花果を時折り死者が挽ぎにくる



日月抄

高橋将夫 推薦

瓶詰めの空蟬となり愛される
心もゆは生きるエンジン鶏頭花
母と子の呼びあふ声の秋めける
蓑虫のぶらりと風を揺らしをり
黒葡萄の弾丸気力の弾けける
纏れた語る話ひとまづ冷し汁
不整脈めく滴りを手の平に
巨峰に種大海原に孤島あり
父祖の墓考に仕へる鉦叩
みちのくの風の音する鉄風鈴
マリア像それでも優し長崎忌
向日葵は遠き私の道しるべ
紫外線見えぬもの等に痛む夏
戒めに程のないありけり秋出水
出会ひたくなかない人と会ふ墓参り
旧道も新道もある大花野
向日葵の笑顔となりし金メダル

中西厚子
阪倉孝子
三木亨
柴田靖子
中貞子
久保夢女
中島昌子
橋本順子
高野昌代
竹村淳
出利葉孝
井上静子
阿部さちよ
時澤藍
岡田桃子
安野真澄
田中美恵子

槐集

高橋将夫選

死出の旅天の川へと舟を漕ぐ

守口 中西 厚子

BGMに乗せられ買ふや処暑の店

精霊舟幾度も向きが変はりをる

やさしさと野性が同居する夕焼

瓶詰め空蟬となり愛される

心もゆは生きるエンジン鶏頭花

枚方 阪倉 孝子

緑蔭へ優しき石に呼ばれける

鈴音のころがりくるや吾亦紅

寡黙から胸すく一語竹の春

盆の月父の座卓は琥珀色

母と子の呼びあふ声の秋めける

守口 三木 亨

愛するも憎むも今は迎鐘

容赦なく地球を蹴つて跳人舞ふ

秋暑しファンで膨らむ作業服

揚花火ちよつとどや顔して果つる

冬瓜の白きに風も澄みゆけり
岡崎 柴田 靖子

蓑虫のぶらりと風を揺らしをり
人魅了させる力を蘭知らず
蓮の実や静かにとんで小宇宙
おけら鳴く星にすつぼりつつまれて
黒葡萄の弾丸気力の弾けける
枚方 中 貞子

三千世界鬼見つからず大根蒔く
俳人の端くれに座し洩団扇
絵心経の満腹の臍秋彼岸
大花野母に見せたき一花かな
縫れたる話ひとまづ冷し汁
竹原 久保 夢女

鬼やんまどこで一息つくのやら
もう飛べぬ蟬が仰ぎし深さかな
突き抜けて天の川まで遠出する
なだめられすかさね瓢箪とはなりぬ